

2016年2月5日

## 株式会社クレディセゾン(8253) 2015年度4-12月期決算発表

今後の持続的成長の実現に向けアジア圏内での事業基盤を構築  
さらに資産運用サービスを推進する投資一任運用会社を設立

2015年度4-12月期は、当社が目指す「アジアにおいて他にない新たなファイナンスカンパニー」に向けて、ベトナム、インドネシアでは、現地企業と合弁会社を設立しリテール金融ビジネスへの本格的参入を推進しました。国内では、プリペイドカードや企業のビジネス形態・決済ニーズに応じてビジネスをサポートする法人向けカードなど、さまざまな決済サービスの提供を通じたキャッシュレス化を促進しました。信用保証、ファイナンス関連の各事業では、多様な資金ニーズに対応した豊富なファイナンス機能の提供を行うことで良質な債権残高の拡大を図りました。

さらに、マネックスグループ(株)およびザ・バンガード・グループ・インクと共同で最先端のIT技術と世界標準の金融知識を活用し、主にオンラインで小口、低コストの資産運用サービスを提供する投資一任運用会社「マネックス・セゾン・バンガード投資顧問(株)」を設立し、今春の事業開始を目指しております。

当連結会計年度のセグメント別業績概況は次の通りです。

### 1. 営業概況

#### (1) クレジットサービス事業

カード会員の増加により顧客基盤を拡充。ショッピングリボルビング残高拡大により営業収益1,526億円(前期比3.4%増)。

- ① 「三井ショッピングパークカード《セゾン》」など、新規開業が続く提携小売業店舗と一体での会員募集を強化し、新規カード発行196万枚(前期比11.3%増)、カード総会員数は46万人増加し2,543万人(前期末比1.9%増)、稼働会員数は34万人増加し1,492万人(前期末比2.4%増)となりました。
- ② カード会員数、稼働会員数ともに増加したことに加え、リボルビング払いの訴求強化により、ショッピング取扱高3兆1,916億円(前期比4.4%増)、リボルビング残高は360億円増加し3,309億円(前期末比12.2%増)となりました。
- ③ 2015年4月にベトナムの現地企業と合弁事業を開始した「HD SAISON Finance Company Ltd.」では、二輪車販売ローンや家電販売ローンを中心に、ベトナム全土に4,000を超える営業拠点において業績を拡大しています。
- ④ ネットビジネスの基盤となるネット会員数は95万人増え1,216万人(前期末比8.5%増)となりました。また、スマートフォン用アプリ「セゾン Portal」「UC Portal」が118万ダウンロードまで拡大しており、ネットサービスの利用促進に努めました。
- ⑤ 2015年11月より「ローソンおさいふ Ponta」の会員管理業務全般を受託し、プリペイドカードの総発行枚数は2,412万枚となりました。
- ⑥ 企業における各種決済のキャッシュレス化に向けた法人向けカードの導入と利用促進を強力に推進し、新規法人カードの発行は前期比36%増加、取扱高は前期比15%伸長しました。

## (2)リース事業

主力提携販売店との信頼関係強化や新規販売店への営業強化に取り組んだものの、営業収益 101 億円（前期比 3.8%減）。

主力提携販売店を中心に販売店との共同キャンペーンの実施や営業強化に取り組むとともに、貸倒関連費用の抑制に努めました。

## (3)ファイナンス事業

フリーローン保証から資産形成まで、多様な資金ニーズに対応した商品性を強みに事業基盤を構築。営業収益 206 億円（前期比 27.1%増）。

- ① 信用保証事業は、地方銀行や信用金庫など地域金融機関との連携強化に努め、新たに 9 先と提携し、提携先数は 390 先(前期差 14 先増)、保証残高は 2,847 億円(前期末比 8.7%増)となりました。
- ② 長期固定金利住宅ローン「フラット 35」は、カード会員向け優待や代理店営業の強化により、住宅金融支援機構への債権譲渡済み残高は 3,343 億円(前期末比 17.8%増)となりました。
- ③ 投資用不動産購入をサポートする「セゾンの資産形成ローン」は、有力な提携先との連携強化により、実行件数、実行金額ともに増加しており、貸出残高は 1,028 億円(前期末比 51.8%増)に拡大しました。

## (4)不動産関連事業

活発な不動産市場での積極的な営業展開により、営業収益 136 億円（前期比 33.0%増）。

連結子会社（株）アトリウムにおいては、不動産市況を追い風に営業展開を積極的に進めるとともに、整理事業における大型案件の売却や開発案件が確実に進捗しました。

## 2. 経常利益・純利益概況

今後の持続的成長に向けた事業基盤の強化をする一方、利息返還請求の今後の動向予測等を踏まえ、利息返還損失引当金を 150 億円繰入れた結果、営業収益 2,042 億円（前期比 6.3%増）、営業利益 265 億円（同 25.8%減）、経常利益 362 億円（同 9.8%減）、四半期純利益は 254 億円（同 1.6%減）となりました。

なお、当期末の業績予想は、営業収益 2,730 億円（同 5.4%増）、営業利益 375 億円（同 6.6%減）、経常利益 485 億円（同 11.0%増）、当期純利益 280 億円（同 121.7%増）となる見込みです。

### (ご参考)2015 年度 4-12 月期 単体業績

(1)新規カード開拓枚数	:	247 万枚	(前期比 11.0%増)
(2)新規カード発行枚数	:	196 万枚	(前期比 11.3%増)
(3)カード総会員数	:	2,543 万人	(前期末からの純増数 46 万人)
(内ネット会員数)	:	(1,216 万人)	(前期末からの純増数 95 万人)
(4)稼働会員数	:	1,492 万人	(前期末からの純増数 34 万人)
(5)稼働率	:	58.7%	(前期末から 0.3%増)
(6)カードショッピング取扱高	:	3 兆 1,916 億円	(前期比 4.4%増)
(7)カードショッピングリボ残高	:	3,309 億円	(前期末比 12.2%増)
(8)カードキャッシング取扱高	:	2,035 億円	(前期比 3.0%減)
(9)カードキャッシング残高	:	2,165 億円	(前期末比 0.8%減)
(10)営業収益	:	1,710 億円	(前期比 5.7%増)
(11)経常利益	:	207 億円	(前期比 38.4%減)
(12)当期純利益	:	112 億円	(前期比 44.2%減)

以上